議会だより３６号　　編集　議会運営委員会

議会からのお知らせ

平成20年第４回定例会は、12月４日に招集され鹿部町高齢者生涯カレッジの方々等27名が傍聴する中、会期を２日間と決め、町長の行政報告のあと、３名の議員が一般質問を行いました。また、選挙２件、議案２件、意見案１件の審議を行い全て原案のとおり可決し会期を１日残して閉会しました。なお、審議された議案の主な内容は、次のとおりです。

◎選　挙

△鹿部町選挙管理委員会委員の選挙

この選挙は、任期満了によるもので、議長の指名推薦により、次の４名の方々が当選人に決定しました。

なお、任期は平成20年12月26日から平成24年12月25日までの４年間です。

小林　勝昭　氏
松本　黄吉　氏
松川　栄治　氏
相澤　正士　氏

△鹿部町選挙管理委員会補充員の選挙

この選挙についても任期満了によるもので、議長の指名推薦により、次の４名の方々が当選人に決定しました。

なお、任期は平成20年12月26日から平成24年12月25日までの４年間です。

第１順位　平田　　長　氏
第２順位　山本　修一　氏
第３順位　三島　　知　氏
第４順位　小山　捷治　氏

◎条　例

△一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する関係条例の整理に関する条例の制定について

内容は、関係法律の整備等に伴い、町条例の文言等を整理するものです。

◎補正予算

△平成20年度鹿部町一般会計補正予算について

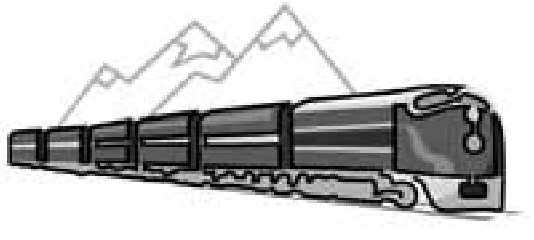
歳入歳出それぞれ７千29万１千円を追加し、予算総額26億３百94万円としました。

内容は、臨時職員賃金及び共済費で３百63万円の追加、介護保険システム改修委託料２百69万５千円の追加、駒ケ岳演習場障害防止対策事業費３千５百62万５千円の追加、大和リゾート地区への防火水槽３基の設置工事に係る南渡島消防事務組合に対する負担金１千７百50万円の追加が主なものです。

◎意見書の提出

次の意見書を可決し、関係省庁等へ提出しました。

◇ＪＲ不採用問題の早期全面解決を求める意見書について



【提出先】
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣

【以上5件、原案どおり可決】

一般質問

■葬儀費用の軽減と会場の確保について
（質問者）中川　一　議員

葬儀費用の軽減と会場の確保について。

生活改善・生活の合理化が叫ばれておりますが、最近は、遺族が負担する葬儀関係の費用が多額になっていると聞いております。また、高齢化が進み葬儀に参列したいが、当町では一般的に葬儀が行われる会場は、椅子席で無いために足、腰に負担がかかり苦痛であるという声が多くの町民の方々より聞かれます。

私は、葬儀費用の軽減化と参列しやすい会場の確保が早急に必要ではないかと思います。この様な事も住民サービスであり町の役割だと考えますが、町長のご見解をお伺いします。

■中央公民館の利用は、行事等との関連もあり、緊急な利用には一定程度の制限がありますが、行事等が重ならない限り、他の地域会館同様の利用が可能であります。今後の、他の地域会館の椅子化対応については、地域要望も踏まえ改修などの時に検討を図って参りたいと思っております。
（答弁者）川村　茂　町長

それでは、中川議員のご質問にお答えいたします。

ご質問は、葬儀に係る費用の軽減化と参列しやすい会場の確保が急務では、とした内容の2点と存じます。

先ず、葬儀に係る遺族の葬儀費用の負担軽減化でありますが、以前に本町では、生活様式の変化に伴い冠婚葬祭に掛かる新生活運動を行政主導で行い、当時相当の生活慣習改革が実行され、今日に至っており、私の認識では葬儀に関する費用の負担軽減化も一定の段階まで進んだと思っております。

しかし、中川議員から、町民からの指摘の声があるとの事でございますので、早い機会に町内の関係する団体と新たな新生活運動について意見交換を行って参りたいと思います。

次に、葬儀会場の件ですが、鹿部町の葬儀を行う会場は、宗教上の事もありますが、90％がお寺での実施で、残り10％が公共施設と自宅での実施と把握しております。

お寺の会場に関する事につきましては、行政といえども椅子化にして下さいとの指示は出来ませんので言及を控えたいと思いますので、ご理解をお願いします。

そこで、町の公共施設ですが、中川議員もご承知のとおり本別中央会館と大岩地域会館につきましては施設建設の際に椅子での実施を想定して造りましたので、現在、数少ない利用状況にありますが、椅子で挙行しております。

しかし、他の地域会館である、鹿部会館や宮浜生活館及び出来澗会館などは、施設規模や当初の地域要望により大きな部屋は畳となっており、椅子を利用できない施設となっております。

また、中央公民館は、ここ3年の間に2回利用されております。

平成18年度に1件、19年度はゼロ、20年度が今までに1件利用されている所でございます。

公民館の利用は、行事等との関連もあり、緊急な利用には一定程度の制限がありますが、行事等が重ならない限り、他の地域会館同様の利用が可能であります。

このことから、本別中央会館と大岩地域会館など地域会館は、住民サービスに供することは当然の事でございますので、ご利用いただければと思います。

今後の、他の地域会館の椅子化対応については、地域要望も踏まえ改修などの時に検討を図って参りたいと思っておりますので、ご理解願いたいと思います。

以上、中川議員の質問に対する答弁といたします。

■再質問、再々質問の要約。
（質問者）中川　一　議員

中央公民館の利用回数が極めて少ない原因は、会場の大きさや祭壇の問題があると思います。

私は会場の一本化を図るのが最適と考えております。

立地条件、駐車場など会場の利便性を考えた場合、中央公民館に祭壇を常設し、葬儀会場として利用出来ないかと思っております。

宗教的な絡みもあって町で祭壇を用意出来ないのであれば町内会連合会や社会福祉協議会へ町が補助をし、祭壇を用意してもらって運営すると言うのも一つの方法と思いますが町長の考え方をお伺いします。

■再答弁、再々答弁の要約。
（答弁者）川村　茂　町長

中央公民館の利用回数は、先程、私申し上げましたように確かに少ないと思っております。

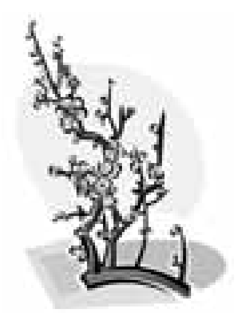
会場の一本化と言う事でございますが、議員ご承知のように本別中央会館それから大岩地域会館の二つにつきましては、建設当初から葬儀もでき椅子化対応もしております。

中央公民館につきましては、葬儀を行うには、議員ご指摘のように会場が大きすぎると思いますが、色々な方法があると思います。

葬儀を行う場合に祭壇が一番高額な部分となってきますが、政教分離からすると祭壇は、町で用意出来ないと思っている所であります。

町内会連合会や社会福祉協議会の方で祭壇を購入して管理出来ないかと言う事でございますが、その部分につきましては、今の時点で回答できません。

団体の方とも協議しなければならないと思っておりますので、ご理解願います。



■国道バイパス工事に伴う連絡道路の整備について
（質問者）吉　英樹　議員

国道バイパス工事に伴う連絡道路の整備について。

現在、国道278号線鹿部バイパス建設工事が進められております。

将来このバイパスが開通した際には、他町の例を見るまでもなく通過車両の増加により市街地や商店街への流入が減少し、地域経済に与える影響は小さくはなく衰退への道を辿る恐れが充分考えられます。

町民の利便を図る事は勿論、町外からの来訪者に対しても利用しやすい連絡道路の整備が必要不可欠なものと考えます。

新規にアクセス道路を整備する事は考えられず現道の改良が最善策と考えられますが、町長のご見解をお伺いします。

■国道278号鹿部バイパスの進捗状況を見ながら検討したいと思っております。現在、町道の道路整備計画を担当課の方で練っている所でありますので、アクセス道路の計画も含めて対応して参りたいと思っております。
（答弁者）川村　茂　町長

吉議員のご質問にお答えをしたいと思います。

国道鹿部バイパス開通に伴う町民及び来訪者に対しての利用しやすい連絡道路の整備についてのご質問でありますが、鹿部バイパスの整備につきましては、現在大岩地区常呂川橋が完成し、町道常呂山道路線（通称リハビリ道路）までの1，500ｍ区間と、その後の鹿部漁港裏山付近までの工事が行われております。

ご質問にあります、バイパス完成後の現道の改良については、以前議員皆様にも現地を見ていただきました、宮浜道路線の一部を手がけておりますが、その他の現道と交差する箇所は、現在の道路に擦り付けるところや、トンネル方式（ボックスカルバート）になると聞いております。

宮浜以外では、鹿部公園付近が現道と擦り付けるところであることから、バイパス整備の進捗状況を見ながら検討したいと思っております。

また、既に指示しておりますが、これからの道路整備計画を担当課の方で練っている所でありますので、その中でそう言うものの計画も含めて対応して参りたいと思っております。

国道278号鹿部バイパスは駒ヶ岳噴火時の避難道としても必要不可欠であることから、早期完成に向け事業費の増額を要望して参っているところであります。

以上、吉議員の質問に対する答弁といたします。

■再質問、再々質問の要約。
（質問者）吉　英樹　議員

今の答弁では、新規にアクセス道路を造らないで現道を改良していくと言うご回答ですけども具体的には、まだ検討中と言う事で理解してよろしいでしょうか。

先程言っていた鹿部公園へ通じる町道のお話ありましたけども、そこには公共施設で言うと墓地もありますし、それから火葬場、プール、いこいの湯などの色々な公共施設が多い道路ですけども、狭いです。

お通夜がありますと、駐車場からあふれて、車両が両側に止まって通行に支障を来たしているのが多く見受けられます。

バイパスが開通するのを待つまでも無く、早めに改良する必要があると思いますが、町長のお考えをお伺いします。

■再答弁、再々答弁の要約。
（答弁者）川村　茂　町長

議員ご承知のように、町道も色々な箇所が老朽化しておりますので、それらも含めて取り付け道路を検討して参りたいと思っております。

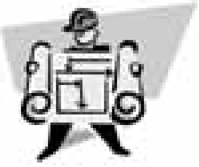
当然、お金の掛かる事でありますので、年次計画でやらなければならないと考えております。

それに対する計画を今、担当課の方に指示してやらせている所であり、旧ゴミ捨て場へ通じる道路については、既に手を付けております。

ただ今の鹿部公園線ですか、いわゆる東光寺線ですね。

交通量も多いですし、プール、いこいの湯等の公共施設があります。確かにこの道路につきましては、高齢者の方々が利用しておりますので、交通事故が心配される訳であります。

私もそう言う状況を見ております。計画の中で優先的に整備したいと考えておりますので、ご理解願いたいと思います。



■大岩地区に漁港又は大型斜路の新設について
（質問者）吉　英樹　議員

大岩地区に漁港又は大型斜路の新設について。

昨今は金融危機また、経済悪化の時と承知しておりますが、だからと言って静観している事は良くないと思います。

そこで活性策として地域で抱える課題の一つであります大岩地区の漁港新設か大型斜路を計画したらどうか。

地元漁業者は、高齢化傾向にありますが、漁で糧を得なければならない訳であります。

漁に出るにも良い環境が必要であると思いますが、現状は足元が悪く船の揚げ下げが大変です。

高齢者であっても安心して漁に出られるよう大岩地区に漁港または大型斜路の新設をし、豊かな生活をと私は思っていますが、町長の御見解をお伺いします。

■漁港整備計画の中には、前浜船揚場施設の使用についても含んで計画されていると北海道ではとらえております。鹿部漁港につきましては、大岩・鹿部・宮浜地区を主に、将来的に集約して行くという計画となっておりますことから、大岩地区に漁港を新たに整備する事はかなり厳しいと思っている所であります。
（答弁者）川村　茂　町長

盛田議員のご質問にお答えしたいと思います。「大岩地区の漁港新設か大型斜路を計画したらどうか」と言うご質問だと思います。

議員ご承知のとおり、昨年3月8日開催されました議員全員協議会におきまして、時化による緊急対策として、大岩船揚場の維持補修についてご理解をいただいたところであります。

この協議会において、船揚場の今後の取扱いについて、私の基本的考えを述べて参りましたことは、議員ご承知のとおりであります。

漁港の整備は、現在の機動力の充実した時代に適応した施設として整備し、常に漁業の生産に対応できる最善の基本施設として町・議会・漁協理事で構成しております漁港整備促進協議会で協議検討し将来を展望しながら国・道にその整備について働きかけを行って来たところであります。

漁港整備計画の中には、前浜船揚場施設の使用についても含んで計画されていると北海道ではとらえておりますし、私もそのように考えております。また、鹿部漁港につきましては、大岩・鹿部・宮浜地区を主に、将来的に集約して行くという計画となっておりますことから、大岩地区に漁港を新たに整備する事はかなり厳しいと思っている所であります。

また船揚場は、現在使用しております箇所については、軽微な補修は行って参

りますが、利用者のいなくなる事が想定されることから、利用者のいなくなる施設については廃止する方向で進めて参りたいと考えておりますので、ご理解を願いたいと存じます。

以上、盛田議員の質問に対する答弁といたします。

■再質問、再々質問の要約。
（質問者）盛田　鐵次　議員

町長の言われる事は、十分承知しておりますが、国道278号線バイパス工事で道路拡張のため浜が狭くなり船の揚場が無くなる。

鹿部漁港と言っても昆布採りになると船がいっぱいで保留できない。また、斜路に揚げて船を修繕しようと思っても揚場が無くて困っている状態です。

漁港が出来なかったら大型斜路の新設が必要と思います。

本来であれば、バイパス工事を計画した時点で、このような計画を立てていれば、大岩地区の皆さんも安心して漁業が出来る。

今の鹿部漁港も平成25年、本別漁港は23年頃に完成すると言う事ですが、完成も近くなっていますので、例えば大型斜路だけでも、今から要望して行ったら良いのではないかと思っております。

今、テレビや新聞等を見ましても景気の悪い話ばかりですが、このような時こそ後退することなく鹿部町民の将来に向けて活力のある町にするのも町長の手腕にかかっている訳でございますが、町長の考え方をお伺いします。

■再答弁、再々答弁の要約。
（答弁者）川村　茂　町長

議員言われる斜路の関係ですが、地域の方々から開発建設部の方に何とかして欲しいと言う様な要望が出ておりますし、私も承知しております。

私も開発建設部の方へ地域住民が利用しやすいようにやって戴きたいという要望をしている所であります。

地域の方々の要望として、現在の何箇所かを一つにしてもらいたいと言う要望があり、その回答を戴いていますが、開発建設部の方から補償的な部分は出来ないと言う回答を戴いております。

現在、開発建設部の方でも設計をやっております。

今の船揚場4箇所を改修するという事を開発建設部から提案されております。

鹿部漁港については、船の保留の仕方を精査しながら対応していかなければならないと思っております。

漁港が出来れば便利になりますが、大岩地区の漁業者がどのように増えていくのか、減っていくのかという事もありますし、そう言う事からすると今の時点では漁港を新設するという様な事は、かなり厳しいと思っております。

斜路・漁港の関係は、漁港整備促進協議会で協議して参りたいと思っておりますので、ご理解願います。

※再質問、再答弁については、要約しております。

第5回臨時会

第5回臨時会は、12月18日に開催され、次の事項について審議されました。

◎条　例

△鹿部町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

内容は、分娩時の医療事故を補償する制度として新たに産科医療保障制度が平成21年1月から導入され、制度に加入している医療機関は、1分娩当たり3万円の保険料を保険運営組織に支払うことになります。

その保険料を医療機関が妊産婦の分娩費用に上乗せ請求するため、現行の出産育児一時金に3万円増額し「35万円」を「38万円」に改正するものです。

◎補正予算

△鹿部町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算について

歳入歳出それぞれ8百74万4千円を追加し、予算総額8億5千6百89万8千円としました。

内容は、高額療養費8百44万4千円を追加したものが主なものです。

◎同　意

△鹿部町教育委員会委員の任命について

山田豊司氏（字本別531番地414）の任命について満場一致で同意されました。

【以上3件、原案どおり可決】

議会を傍聴してみませんか

次回の定例会は、３月上旬に開催される予定です。

～傍聴手続きは簡単です。～
傍聴席の入り口にある傍聴人名簿に住所と氏名を記入するだけです。

◇編集　議会運営委員会
委員長　伊藤　辰男
副委員長　吉　英樹
委　員　盛田　鐵次
委　員　竹ヶ原公勝